

第18回アンケート結果（抜粋）とコメント

文責 沢

1. 一般講演4：「日本舞踊「黒田節」の伝承について」

1. 立場の違いによる記述があると、どういうインタラクションとして分析できるか興味があります。
2. 趣味で海外のダンスを習っていますが、いわゆる「Dance」と「舞い」の違いの一端が見えたような気がしました。

沢のコメントです。

1. 専門分野が異なる場合の協業を想定します。それぞれの専門領域のかなり広い専門的な常識の知識や知恵を保有しています。協業時の目的に沿って対話をするときにこのギャップが対話で埋まらないことがあり、両者が目的とする成果が一致しないこととなります。

時間的な制約や表層的な対話だけで仕事を進めて深い思考がなく結果を急ぐとそのようなことになると考えられます。

対話の状況を録画・録音をして、スクリプトを何度も見直すこと（省察）で、ギャップの原因が発見できる場合があります。ただし、時間がかかりすぎるという欠陥があります。

「実践知」獲得システムを計画しています。この場合は、異分野の専門家の対話やプロトタイプシステムの実践時の過程をビデオに取り、その分析により新規の知恵の知識が発見できる可能性があると考えています。

2. 発表では説明不足でした。ダンスと「舞い」の相違は、Wikipedia【日本舞踊】によると下記です。ダンスとの相違は、かなり明白になりますね。

日本の舞踊の種類

日本の伝統的な舞踊は、舞い・踊り・振りの三種類に大別される。

1. 舞い；荘重な歌や音楽に合わせて、摺り足や静かな動作で舞台を廻るもの。貴族的で、舞台芸能として長い歴史をもつ。

宮廷の祭祀に奉納されるもの [雅楽](#)（ががく） [舞楽](#)（ぶがく）

民間の祭礼において披露されるもの [神楽](#)（かぐら） [田楽](#)（でんがく）

歌+舞の様式をとるもの [猿楽](#)（さるがく） [白拍子](#)（しらびょうし） [延年](#)（えんねん）

[曲舞](#)（くせまい） [幸若舞](#)（こうわかまい）

舞台演劇化したもの [能楽](#)（のうがく）

2. 踊り：軽快な歌や音楽に合わせて、足を踏み鳴らして拍子を取りながら、動きのあるな手振り身振りであわねり回るもの。庶民的で、[江戸時代](#)になってから発達した。

民衆の娯楽として発達したもの [念仏踊り](#)（ねんぶつおどり） [盆踊り](#)（ぼんおどり）

[阿波踊り](#)（あわおどり） [郡上踊り](#)（ぐじょうおどり） [西馬音内踊り](#)（にしもないおどり）

その他各地に多数

3. 振り：歌や音楽に合わせて、日常的な動きやしぐさを舞踊として表現するもの。

江戸時代に[歌舞伎](#)や[人形浄瑠璃](#)の発達にともなって派生した。

屏風を立てた座敷で舞うもの [上方舞](#) (かみがたまい)

舞台演劇化したもの [歌舞伎舞踊](#) (かぶきぶよう) [所作事](#)ともいう。[浄瑠璃](#)や[長唄](#)を伴奏に使って踊る。浄瑠璃は[竹本](#)・[清元](#)・[常磐津](#)などを使い、物語性が濃い。長唄の所作事は曲に合わせての動作の面白さを見せるところがある。

4. その他：比較的新しい舞踊として以下のものがある。

[日本武術](#)を舞踊化したもの [棒の手](#) (ぼうのて) [剣舞](#) (けんぶ) [詩舞](#) (しぶ)

近代以降の舞踊 [新舞踊](#) (しんぶよう) [歌謡舞踊](#) (かようぶよう) [吟詠剣詩舞](#) (ぎんえい けんしぶ)